

高規格幹線道路
～南九州西回り自動車道～

「コンパクト＋ネットワーク」を推進し、
広域的な経済・生活圏の形成！

- ・一般国道3号とのダブルネットワーク形成
- ・九州縦貫自動車道の代替ルートとして機能

沿線地域の企業立地件数

■ H22以降の企業立地協定締結累計件数(新設・増設含)

年度	件数	注釈
H22	7	
H23	14	
H24	16	
H25	21	H27.3供用 ～野田駅C
H26	29	H27.3供用 ～野田駅C
H27	37	H27.3供用 ～野田駅C
H28	44	H27.3供用 ～野田駅C
H29	57	H27.3供用 ～野田駅C
H30	61	H27.3供用 ～野田駅C
R1	65	H27.3供用 ～野田駅C
R2	69	H27.3供用 ～野田駅C
R3	72	H27.3供用 ～野田駅C
R4	76	H27.3供用 ～野田駅C
R5	83	H27.3供用 ～野田駅C

現在のデイワン圏域

南九州西回り自動車道沿線地域には、東町漁協のブリをはじめ、出水の紅甘夏などのかごしまブランド産地に指定されている作物の生産が多く、その出荷の多くがトラック輸送に頼っており、**南九州西回り自動車道の整備によって輸送時間が短縮され、出荷時の鮮度保持や販路拡大につながる。**



**重要港湾鹿児島港・川内港を活かした
物流や交流人口の増大が期待！！**

国際旅客船拠点形成港湾に指定(H30.6)
・新たな岸壁(マリポート2号岸壁)が令和4年3月に完成し、
2隻同時接岸が可能に！(本港区北ふ頭と合わせると3隻
同時接岸が可能)
・コロナ禍により減少した**クルーズ船寄港回数が過去最高
並に回復**
⇒南九州西回り自動車道を活用したツアーの増大が期待

本港区北ふ頭

マリンポートかごしま

R6.3 鹿児島港に3隻同時寄港

Year	Number of Responses
H26	33
H27	53
H28	83
H29	108
H30	100
R1	106
R2	4
R3	2
R4	3
R5	82
R6	105

- ・韓国(釜山)航路が就航し、世界への物流ルートを確保
- ・コンテナ取扱量は、過去最高を記録(R4:2万4千TEU)
- ・原木輸出取扱量は、H26以降急速に増加
- ・コンテナ船の大型化や貨物の更なる増大に対応するため国際物流ターミナルの整備中(R4.4着工式)
⇒南九州西回り自動車道を活用した物流の増大が期待



川内港

新たなコンテナヤードの確保

-12.0m岸壁

約3倍

コンテナ取扱量の増加とともに
トレーラーによる陸送も増加傾向

南九州西回り自動車道の全線開通を見据え、川内港に近接し、薩摩川内水引ICからも車で約10分の薩摩川内市久見崎町において、次世代エネルギーを中心とした産業集積や物流拠点整備などを目的に、整備を進めていた産業用地(14.8ha)を分譲中。